

糸我小学校だより

令和5年5月31日



遠足に行ってきました

4月28日（金）、糸我小学校伝統の遠足が4年ぶりに復活し、山を越えて栖原海岸へ遠足に行ってきました。事前に、先生たちも下見に行き、道の様子や獣捕獲のための罠も確認してきてくれました。天気も味方してくれ実施することができました。

遠足は、「縦割り班」といって異学年（1～6年）混合の班を作って行きます。遠足に行くまでに、この縦割り班を使った活動をします。メンバー紹介はもちろん遠足のコース説明をしたり目標を決める話し合いをしたりしました。これらの活動も、もちろん高学年の児童が中心となって進めてくれます。こういった経験を重ねることで高学年としての気持ちと態度が育っていきます。下の写真は遠足前の縦割り班活動の様子です。



当日も、高学年らしく低学年の事を考えて、歩く速さや、声かけをしながら目的地を目指しました。帰りも同じ道を通って帰ってくるので相当な距離を歩きましたが、全員無事に学校へ帰ってくることができました。低学年、よく頑張りました。高学年、お疲れ様でした。



体力テストを実施しました

5月11日（木）に体力テストを実施しました。握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、20mシャトルラン、50m走、ボール投げの8種目を行い体力・運動能力を測定します。このデータを全国のデータと比較し、糸我小学校の子どもたちの弱点を見つけ改善していこうというものです。子どもたちはそれぞれの種目に一生懸命チャレンジしていました。



租税教室(6年生)

5月19日（金）6年生で「租税教室」を実施しました。湯浅納税協会専務理事 新井様と、株式会社フォーラル及び株式会社フレッピー代表取締役 石田様に来校いただき、税金について学習しました。もし税金がなかった場合、生活はどのようになるのかをDVDで視聴したり、税金に関するクイズに答えたりしました。子供たちは、今日の学習を通して税金の大切さを理解することができたようです。また、1億円（見本）の入ったジュラルミンケースを持たせてもらい、重さを体感することもできました。



資源ゴミ回収のお手伝い

5月6日（土）子どもクラブ主催の資源ゴミ回収のお手伝いに子供たちが行ってきました。朝8時に集合して、地域の方が資源ゴミをもってきてくれるのを受け取り、所定の場所に置くという作業をしてくださいました。どんどん資源ゴミが持ち込まれるスピードに負けないように、どんどん受け取って運んでいきます。参加してくれた子供たちはどの子も一生懸命作業をしてくださいました。さすが、糸我小学校の高学年と誇らしくなりました。



糸我小学校だより

令和5年5月31日



『田んぼの学校』の活動が始まりました!

＜初まき（お米の種まき）＞

いよいよ今年度も「田んぼの学校」の活動が始まりました。毎年、糸我地区青少年育成会のみなさんが中心になって行って下さっている学習活動です。

5月9日（火）に、5年生が、田植えの苗を育てるために種まきをしました。田んぼの学校の校長先生である山崎佳彦さんから指導を受け、子供たちは①～④の作業を行いました。

- ①種をまく
- ②まいた種の上に、土をかぶせる。
- ③の上で重みのある壺のようなものを転がし、かぶせた土と種をなじませる。
- ④鳥に種を食べられないように、あみをかぶせる。
- ⑤水分を保つために、わらをかぶせる。

子供たちがまいた種は、今、芽を出し順調に育っています。6月6日（火）に「苗取り」を翌日の7日（水）には全校児童で田植えを行う予定です。



＜アイガモの孵化＞

稲はアイガモ農法で育てていきます。アイガモ農法の主役であるアイガモは、卵からかえ孵して田んぼに放鳥します。そこで、5月10日（水）に、学校に設置した孵卵器の中に、アイガモの卵を5年生の子供たちの手で入れ温め始めました。卵には、「元気に産まれてね」等、子供たちの思いを書いています。子供たちは当番で孵卵器の温度や湿度を管理しています。

5月18日（木）は、検卵日でした。アイガモの卵が元気に育っているか点検します。部屋を暗くして卵に電球の光を当てると、殻が透けて中で心臓が動いているのが確認できました。子供たちは「すごい、動いている」等、喜びと感動を言葉にしていました。卵の孵化予定日は、6月5日（月）頃だそうです。子供たちは世話をしながら孵化を楽しみにしています。



『みかんの学習』でもお世話になっています!

3年生の「みかんの学習」では、毎年、宮本正弘さん（有田市農業委員会会長）のみかん畑で体験学習をさせていただいています。5月9日（火）には、3年生が「摘蕾」を体験させていただきました。「摘蕾」とは、蕾のうちに花を摘み取って、開花する花数を減らす作業です。花数を調整することで、木の栄養の消耗を防ぎ、実る果実を大きく、おいしく育てることができるそうです。子供たちは宮本さんのお話を聞き、摘蕾作業に一生懸命取り組んでいました。



また、3年生の子供たちにみかんの苗木2本を校舎裏の学級園の近くに植樹しました。子供たちの成長とともにみかんの木も生長していきます。今の3年生の子供たちが卒業する頃にはどれほど大きくなっているのか楽しみですね。たくさん実を付けるようにしっかりお世話しましょう。学校にお越しの際は是非ご覧いただきたいと思います。

因みに、このときの学習の様子は、NHK、テレビ和歌山が取材に来て放送されました。



糸我得生寺中将姫会式に子供たちが参加しました

5月14日（日）に、糸我得生寺中将姫会式が4年ぶりに執り行われました。この歴史ある伝統行事に、たくさんの子供たちが参加させていただきました。このような伝統的な行事にも参加し、糸我の歴史に興味をもち伝統を大切に受け継いでいってほしいと思います。

